

# 病院新本館

— Super Smart Hospital —

## 建築プロジェクトニュース vol.01

2019年6月発行



### ご挨拶

この度、病院新本館建築の本格的なスタートに際し、『病院新本館建築プロジェクトニュース』を発刊する運びとなりました。今後、本プロジェクトニュースを適宜に発行して建築の進捗をご報告するとともに、関連する様々な情報を配信してまいります。

さて、本法人は病院全建替え事業の決定以来、大阪府管住宅跡地を確保するなどの努力を続け、2016年には嚆矢となる中央手術棟が竣工・開院しました。本邦でも有数の規模と最新鋭の設備を整え、高度な医療の提供をコンセプトに据えた“24時間体制で断らない手術室”を実現し、順調に稼働しています。

そして、当該事業の根幹を成し、メインタワーである病院新本館の建築は、2027年に迎える大阪医科大学創立100周年の記念事業として位置付けられ、政府が提唱する Society5.0に向けた、「超スマート医療を推進する大学病院」の具現化を目指し、スーパースマートホスピタル構想の下で計画が進められています。工事は今年5月の臨床講堂棟及び病院

5号館の解体工事から始まり、病院新本館A棟は2022年3月頃、B棟は2025年1月頃の竣工を予定し、講堂棟については創立100周年を迎える2027年頃の完成を目指しています。

数十年先の未来を見据え、AIを積極的に活用したスーパースマートホスピタルの名にふさわしい高い機能と設備を備えた高層の新病院の完成は、本大学病院が高度な医療を行う特定機能病院としての責務を果たせることはもとより、市民病院的役割も担えるものと確信しています。同時に、高度先進医療とチーム医療の実践を可能とする安全で快適・良質な医療環境と、より良い学生臨床実習の環境も整備されます。

本法人は、役員・教職員が一丸となり、総力を挙げて本事業に取り組んでまいります。工期中、本大学病院を受診される皆様や近隣住民の方々には何かとご不便やご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学校法人大阪医科大学  
理事長 植木 實

# 病院新本館建築工事 始まる

- ご挨拶
- 建築概要
- スーパースマートホスピタル構想コンペ

「大阪医科大学創立100周年記念事業募金」ご協力をお願い

## スーパースマートホスピタル構想コンペ

3月31日をもってエントリーを締め切った結果、AI、アプリ、スマホなどを用いるものや外来患者サービスに係るもの、待ち時間短縮に関するものなど、50代表者、計68件のエントリーがありました。

今後、提出された提案書（5月31日締切）をもとに、審査（一次・二次）が進められます。

■スーパースマートホスピタル構想コンペ WEB サイト  
[https://www.osaka-med.ac.jp/SSHp\\_Competition.html](https://www.osaka-med.ac.jp/SSHp_Competition.html)



募集  
テーマ

新本館建築について、「病院全体の運用に係る”医療・看護・施設”など、自由な視点によるアイデア



病院新本館建築プロジェクト推進会議  
議長  
(大阪医科大学附属病院 副院長)

南 敏明

今回の建築に際し、学校法人大阪医科大学全体に周知と関心を持っていただくために、スーパースマートホスピタル構想コンペを提案させていただきました。その結果、大阪医科大学の職員のみならず、高槻高等学校の学生、父兄からも応募を頂き合計68件となりました。当初の目標の「周知と関心」は成功と思えます。

向こう8年間の大プロジェクトですが、未来の大阪医科大学附属病院のために頑張りますので、御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

## 「大阪医科大学創立100周年記念事業募金」ご協力をお願い

### ●募金の募集要綱

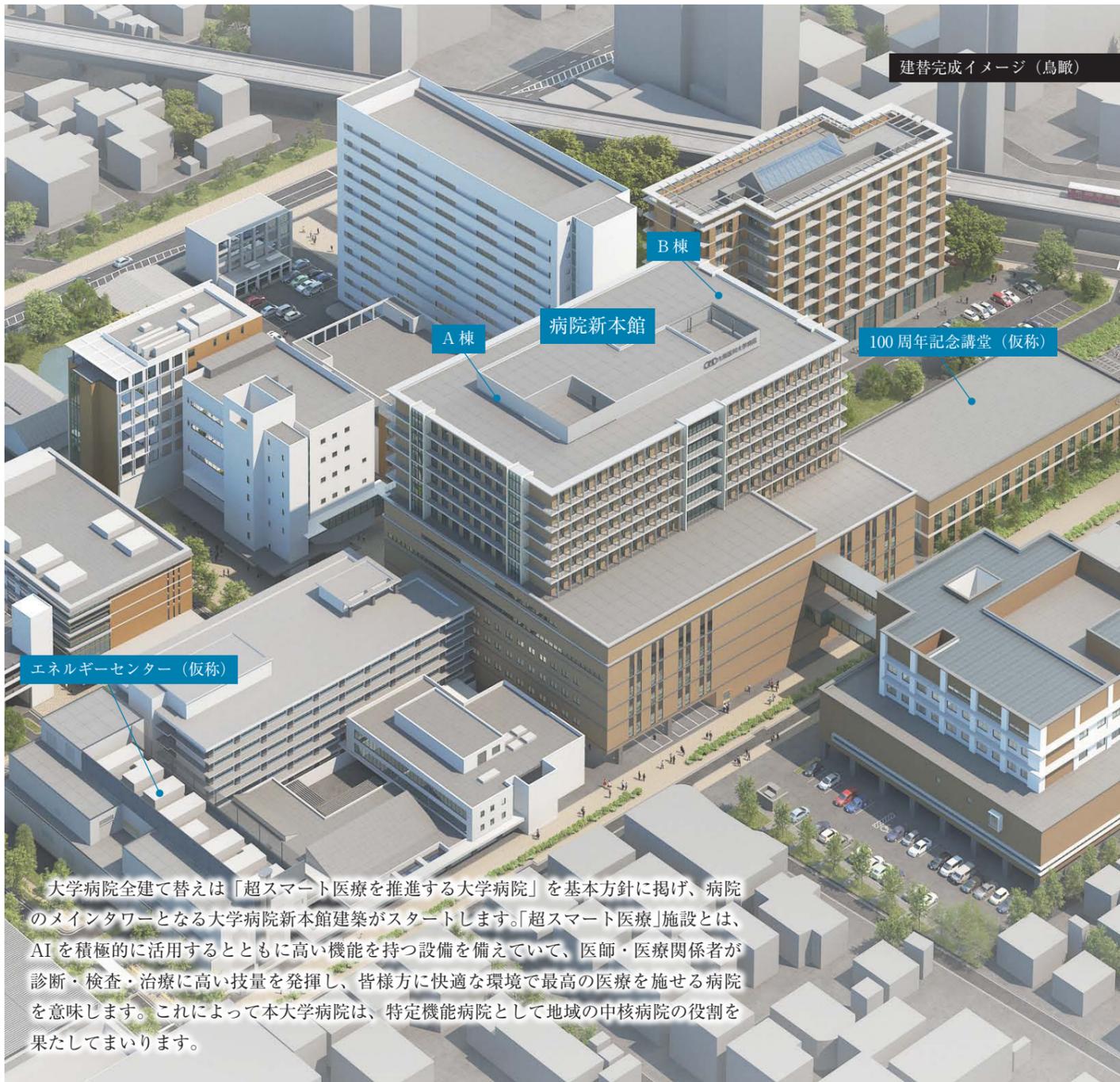
- 募金名称 大阪医科大学創立100周年記念事業募金 —「大学病院新本館」建築—
- 募金の目的・用途 寄付金は、大学病院新本館建築に係る資金の一部、並びに学生支援体制の充実を図ることを目的に募集します。
- 募金目標額 10億円
- 募金期間 2018年10月～2027年3月
- 寄付の種類 現金、遺贈、現物寄付、相続財産  
\*現金以外のご寄付の方法については、募金推進本部にお問い合わせください。
- 金額 個人は1口1万円、法人は1口10万円としておりますが、できるだけ複数口のご協力をお願いします。  
なお、法人からのご寄付の場合は、1口未満もありたくお受けいたします。  
また、個人・法人いずれのご寄付の場合も、分割での寄付も可能ですのでお申し出ください。

### ●特典について

- 顕彰 個人5口以上、法人5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、末永くそのご厚志を顕彰させていただきます。
- 無料健診券の進呈 個人10口以上、法人5口以上ご寄付いただいた方には、健康科学クリニックの人間ドック(基本コース)1回分の無料健診券を進呈させていただきます。  
ただし、健康科学クリニックでの無料健診の特典は、個人の場合はご寄付いただいたご本人様に限り、また法人の場合は法人が指定される方1名様に限り対象です。  
なお、個人、法人いずれの場合も、この特典の有効期間は、寄付申込日から1年以内とさせていただきます。

募金についてのご相談・お問い合わせ

大阪医科大学 募金推進本部 【TEL】072-684-7243（直通）



大学病院全建て替えは「超スマート医療を推進する大学病院」を基本方針に掲げ、病院のメインタワーとなる大学病院新本館建築がスタートします。「超スマート医療」施設とは、AIを積極的に活用するとともに高い機能を持つ設備を備えていて、医師・医療関係者が診断・検査・治療に高い技量を発揮し、皆様方に快適な環境で最高の医療を施せる病院を意味します。これによって本大学病院は、特定機能病院として地域の中核病院の役割を果たしてまいります。

# 病院新本館建築工事始まる

病院新本館の建築に向け、臨床講堂棟・病院5号館の解体工事が始まりまし。2020年6月からはA棟の建築が始まります。A棟の完成は2022年、B棟は2025年を予定しています。



	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
病院5号館、臨床講堂棟の解体		●	●							
病院新本館A棟、エネルギーセンター等建築工事		●	●	●	●					
中央診療棟の解体				●	●					
病院新本館B棟建築工事					●	●	●	●		
病院6、7号館改修工事							●	●		
病院1、2、3号館・外来棟・管理棟の解体								●	●	
100周年記念講堂(仮称)の建築									●	●

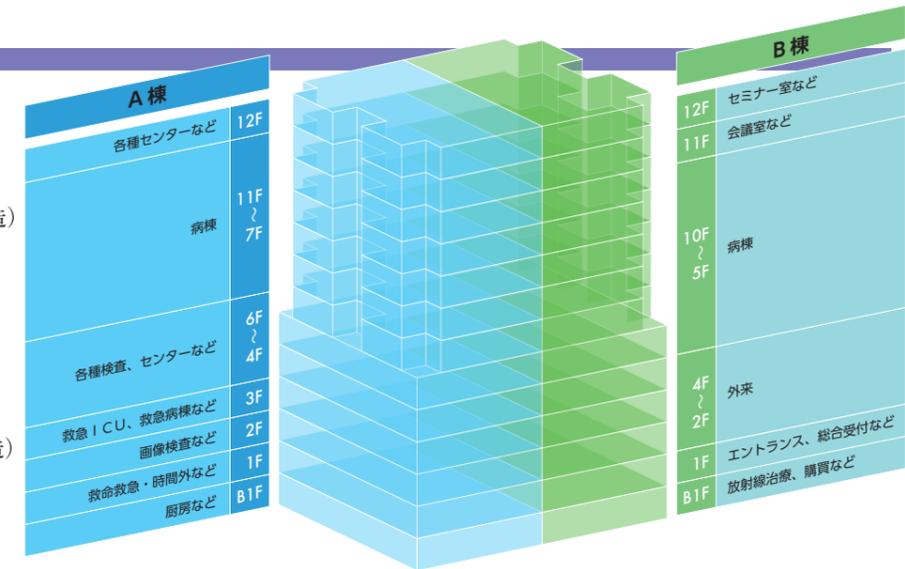
## 建築計画概要

### ■ 大学病院新本館 A 棟

階数 地上12階/地下1階  
 構造 鉄骨造一部  
       鉄筋コンクリート造(免震構造)  
 延床面積 約28,300㎡  
 施工時期 2020年～2022年(予定)

### ■ 大学病院新本館 B 棟

階数 地上12階/地下1階  
 構造 鉄骨造一部  
       鉄筋コンクリート造(免震構造)  
 延床面積 約26,100㎡  
 施工時期 2023年～2025年(予定)



激動の平成も終わりを迎え令和元年が訪れました。これに合わせて本格的に病院新本館の建築がスタートしました。近年、病院建て替えに合わせて移転するケースが増えていますが、本院は、地域の方々に慣れ親しんだこの高槻の地で、しかも、至便の土地であることから、狭隘な敷地ながらも現地建て替えを選択しました。

病院新本館は、A棟とB棟からなる12階建て、スクラップアンドビルドを繰り返しての建築となるため、講堂棟建築を含む全ての工事の完了は創立100周年を迎える約9年後となります。その間、皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解の程お願い致します。

新病院では、高度な医療を安全に提供する特定機能病院としての役割を果たすべく、ICTやAIを積極的に活用します。アメニティーの充実にも配慮し、安心して過ごせるような療養環境を整備します。また、大阪府三島救命救急センターの第三次

救急機能を本院内に移転する予定で、昨年相次いだ災害にも対応できる災害拠点病院としての機能を充実します。

一方で、教育研究機関として医学、薬学、看護学部学生の臨床実習スペースを確保し、最良の医療人を育成できる学習環境も整えます。

現在、建設会社と共に本院の職員が、職域の壁を乗り越えて意見を出し合い、10年後の医療を見据えた様々な検討を進めております。9年後には、必ずや皆様にご満足いただける病院になることを確信しておりますので、どうぞご期待ください。



大阪医科大学附属病院  
 病院長 内山 和久

## 西側仮設通路のご案内

病院新本館 A 棟の建築工事に伴い、西側通路に仮設通路を設置します。ご不便おかけしますが、よろしくお願い致します。

